

## 知事と政策連携団体代表者の意見交換 議事概要

### 1 団体名

(株) 多摩ニュータウン開発センター

### 2 実施日時

令和元年7月19日(金) 11時38分～11時49分

### 3 出席者

- ・団体側出席者：田村社長、川合事業推進本部長、  
松崎多摩ニュータウン事業担当部長（都市整備局）
- ・都側出席者：小池知事、遠藤総務局長、武市財務局長、  
小林行政改革推進部長

### 4 議事概要

#### ○小池知事

住宅の老朽化が進行したり、センター近隣が衰退しているということだが、地域全体をどのようにして底上げをしていくかが重要であり、(貴社の債務の)返済計画そのものに関わってくるものだと思う。

現在の賃貸部分の入居率はどれぐらいか。

#### ○田村社長

ビル3棟合わせてほぼ100%である。特にパオレビルにおいては、去年10月に、会社設立以来初めて100%を達成した。ただ、現在は1箇所だけ空いている状況であるので、おおむね100%というところである。

#### ○小池知事

施設の更新に向けた投資分と再生債務の返済分のバランスをどのようにとっていくかは、経営としては一番の基本中の基本になるが、首都大学の存在を生かしたまちづくりということも考えてほしい。

#### ○田村社長

南大沢には多くの商業施設があり、それぞれが収益性を考えているが、当社は収益性に加え、公益性を持っていることから、南大沢の企業を束ねて、にぎわいづくりに取り組んでいきたいと考えている。

○小池知事

首都大学とも連携して、価値を高める取組ができるといい。

○田村社長

学生もたくさんいるし、海外から研究目的で来ている方もいる。大学とのつながりを大事にし、何か行いたいとは考えている。

○武市財務局長

橋本駅にリニアが来ることをきっかけとして、何か事業展開を考えているのか。

○田村社長

京王線でも2駅であり、非常にいい位置関係にあると認識している。

ただ、当面は債務の返済に注力し、その先については周囲の状況を見ながら考えたい。